

日付：2021年4月2日（金）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	国連が福島事故健康影響、可能性低くについて	日経1 損害保険・医療保障	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の東京電力福島第1原子力発電所の事故で生じた放射線の被曝（ひばく）による健康影響を考える上で、重要な国連の報告書がまとまる（国連科学委員会） 結論は「将来、被曝が直接の原因となつてがんが増えるなどの健康影響がみられる可能性は低い」という内容で、国際的に大きな危険性を否定された形 しかしながら、処理水等の課題は足踏みであり、風評被害が払しょくされたわけではない 	<ul style="list-style-type: none"> 話題として活用 損害（地震）保険の確認と訴求 医療保障に話題まで波及
2	（社長100人アンケート）供給網、見直し着手8割等について	日経1 大見出し	<ul style="list-style-type: none"> 「社長100人アンケート」で、新型コロナウイルスを契機に、国内に工場を持つ企業の8割がサプライチェーン（供給網）の再構築を推進 特定地域での集中生産や在庫の絞り込みといった効率化のもろさが、コロナ禍や米中摩擦であらわになった。経営者は危機への耐性を強めようとしている アンケートによると、コロナの収束時期予測は「22年」までの合計が77.6%（前回比13.4%減）。変異ウイルスの脅威や、ワクチンの有効性と普及ペース、副反応等を懸念 	<ul style="list-style-type: none"> 本日の大見出しとして情報をアップデート
3	「まん延防止」大阪・兵庫・宮城適用決定について	日経29 採用・医療保障	<ul style="list-style-type: none"> 政府は「まん延防止等重点措置」の適用を決定。期間は4月5日～5月5日までの1カ月 都道府県全域を対象とする緊急事態宣言と違い、知事の判断で対象区域を絞ることができ、大阪府は大阪市、兵庫県は神戸、芦屋、西宮、尼崎の各市、宮城県は仙台市を指定 知事は特措法に基づき、6市内の飲食店に営業時間を午後8時までとするよう要請・命令が可能となる。従わない場合は20万円以下の過料を科すことができる 適用により減少した売り上げに対し、中小企業の場合は4万～10万円を支給等支援 	<ul style="list-style-type: none"> 最新のコロナ系の話題 採用候補者の就業の現況を確認と最新化 コロナ系の話題から医療保障まで
4	基礎から学ぶ資産運用②証券会社選びとNISAについて	日経21 積み立て・投資	<ul style="list-style-type: none"> 昨日の続き。証券口座を開設し準備を整えた投資初心者にとって、次のハードルは「どの金融資産に投資」するかで、覚えたいのは「分散・長期・積み立て」の3つのキーワード 各資産にどのくらい配分するかはアセットアロケーションと呼ばれ、金融資産の分散を意識 長期積み立ても重要。定期に定額を積み立てると、下がったところでは多く株数を買え、高値では株数を減らすことができ「ドルコスト平均法」と呼ばれ、長期積み立ての主流 	<ul style="list-style-type: none"> お客様の積立志向の確認 年金200万円問題等から、老後の資金計画の現況確認 積み立て系商品の訴求

市況情報

日経平均/前日比	29,388.87	210.07	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.002%
TOPIX	1,957.64	3.64	国債(5年)/前日差	-0.085%/
ダウ平均	33,153.21	171.66	国債(10年)	0.110%/
上海総合指数	3,466.33	24.42	米国債(10年)	1.674%/
ドル円	110.68-69	5銭安	中国国債(10年)	3.196%/

今日は何の日

- 国際こどもの本の日
- 歯列矯正の日
- 図書館開設記念日
- 国際児童図書評議会（IBBY）の創設者・イエラ・レップマンの提唱により、国際児童図書評議会が1966年に制定。
- デンマークの童話作家・アンデルセンの誕生日

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：エネルギッシュに人生を切り開く人

長所

- コミュニケーションがとれる
- 行動力がある
- 逆境に強い

短所

- 自分勝手な面がある
- 活字が苦手
- 食べ物の好き嫌いが大

誕生日花：クローバー

花言葉：私を思って・幸運・約束・復讐

誕生日カラー
紫色



本日の深掘りウォッチ：全国各地の今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率

全国地震動予測地図2020年版の特徴

- 日本海溝沿いのプレート間巨大地震や南海トラフ沿いで発生する大地震について従来よりも震源域の多様性を考慮したモデルに変更
- 震源断層を予め特定しにくい地震のモデルの改良(詳細右記)と地下構造モデルの改良
- 地震発生確率の評価基準日変更(2020年1月1日)
 ※横浜市役所は移転後の位置(2020年6月29日に全面移転)
 ※鳥取市役所は移転後の位置(2019年11月15日に全面移転)

なお、2018年版に比べて、主に以下の違いがある

1. 東北地方や関東地方北部の太平洋側では、東北地方太平洋沖地震後の地震活動を考慮したことによる確率の増加
2. 関東地方では、増幅率の計算に用いる浅部地盤構造モデルを改良したことによる確率の増減
3. 山梨県・静岡県・長野県東部では、南海トラフ沿いで発生する大地震の震源域について従来よりも多様性を考慮したことによる確率の減少

各地	2020	差	2018	2017
札幌市	2.2%	0.6%	0.9%	1.6%
石狩(札幌市)	2.2%	0.6%	0.9%	1.6%
渡島(函館市)	1.5%	0.0%	1.1%	1.5%
檜山(江差町)	1.4%	0.3%	1.1%	1.1%
後志(倶知安町)	6.4%	1.3%	3.6%	5.1%
空知(岩見沢市)	12.0%	2.0%	6.2%	10.0%
上川(旭川市)	0.8%	0.2%	0.4%	0.6%
留萌(留萌市)	2.4%	0.6%	1.7%	1.8%
宗谷(稚内市)	1.6%	0.5%	1.1%	1.1%
オホーツク(網走市)	4.1%	0.4%	1.3%	3.7%
胆振(室蘭市)	9.1%	0.6%	5.0%	8.5%
日高(浦河町)	69.0%	-1.0%	65.0%	70.0%
十勝(帯広市)	23.0%	1.0%	13.0%	22.0%
釧路(釧路市)	71.0%	2.0%	47.0%	69.0%
根室(根室市)	80.0%	2.0%	63.0%	78.0%
青森市	5.0%	-0.7%	5.2%	5.7%
盛岡市	6.3%	1.7%	4.3%	4.6%
仙台市	7.6%	1.5%	5.8%	6.1%
秋田市	10.0%	1.9%	8.0%	8.1%
山形市	4.2%	0.4%	3.6%	3.8%
福島市	9.3%	2.2%	6.7%	7.1%

各地	2020	差	2018	2017
水戸市	81.0%	0.0%	81.0%	81.0%
宇都宮市	13.0%	-1.0%	13.0%	14.0%
前橋市	6.4%	-0.8%	7.0%	7.2%
さいたま市	60.0%	5.0%	55.0%	55.0%
千葉市	62.0%	-23.0%	85.0%	85.0%
東京都庁	47.0%	-1.0%	47.0%	48.0%
横浜市※	38.0%	-44.0%	81.0%	82.0%
新潟市	15.0%	2.0%	13.0%	13.0%
富山市	5.2%	0.0%	5.2%	5.2%
金沢市	6.6%	0.1%	6.5%	6.5%
福井市	15.0%	2.0%	13.0%	13.0%
甲府市	36.0%	-14.0%	49.0%	50.0%
長野市	6.1%	0.4%	5.7%	5.7%
岐阜市	27.0%	0.0%	27.0%	27.0%
静岡市	70.0%	0.0%	69.0%	70.0%
名古屋市	46.0%	0.0%	46.0%	46.0%
津市	64.0%	0.0%	63.0%	64.0%
大津市	13.0%	2.0%	11.0%	11.0%
京都市	15.0%	2.0%	13.0%	13.0%
大阪市	30.0%	-25.0%	56.0%	55.0%

各地	2020	差	2018	2017
神戸市	46.0%	2.0%	45.0%	44.0%
奈良市	62.0%	1.0%	61.0%	61.0%
和歌山市	68.0%	10.0%	58.0%	58.0%
鳥取市※	9.3%	3.7%	5.6%	5.6%
松江市	4.9%	1.2%	3.7%	3.7%
岡山市	44.0%	2.0%	42.0%	42.0%
広島市	24.0%	1.0%	23.0%	23.0%
山口市	6.3%	0.4%	5.9%	5.9%
徳島市	75.0%	2.0%	72.0%	73.0%
高松市	64.0%	1.0%	62.0%	63.0%
松山市	46.0%	1.0%	44.0%	45.0%
高知市	75.0%	0.0%	74.0%	75.0%
福岡市	6.2%	-2.0%	8.2%	8.2%
佐賀市	9.2%	1.0%	8.2%	8.2%
長崎市	3.0%	0.4%	2.6%	2.6%
熊本市	11.0%	3.3%	7.6%	7.7%
大分市	55.0%	1.0%	56.0%	54.0%
宮崎市	43.0%	-1.0%	44.0%	44.0%
鹿児島市	18.0%	0.0%	18.0%	18.0%
那覇市	21.0%	1.0%	20.0%	20.0%

参考) 全国地震動予測地図2020年版(地震調査研究推進本部 地震調査委員会)

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考にさせていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいませよう願いたします。お問い合わせ等は下記URLまでご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複製・複製・転載することは禁じられております(<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2021 k'sらぼ株式会社